

Play True & Sports Integrity

～子どもたちに夢を与える教員に～

琉球大学 教育学部 教授

(スポーツコーチング学)

三輪 一義

1

本日のねらい

このテーマでは、

「自分のこれまで」を振り返る

- ① 仲間とDiscussionする
- ② 自分の考えをOutputする
- ③ 多様な価値観を知る

→Input(聴く)だけで終わらず、Output(話す)する

⇒言葉にすることで自分の意見をハッキリ持つ

⇒他人の考えを知ること自身を確認する

2

お願い事

どの**言葉**が印象に残っていますか？

それぞれ2つだけ選んでください

<Gディスカッションに必要>

3

スポーツにおける正しいこととは

PLAY TRUE

JABA 公益財団法人 日本アンチドーピング機構



4

スポーツにおける正しいこととは



“スポーツにある価値”
“スポーツを通じた価値”

5

スポーツにおける正しいこととは



Excellent
Friendship
Respect

6

スポーツにおける正しいこととは

Excellent (最善を尽くす)
Friendship (仲間を信じる)
Respect (他者を尊敬する)

= スポーツマンシップ

7

スポーツにおける正しいこととは

Good Loser (良き敗者)

言い訳をせず、負けを受け入れ、仲間を思いやり、
かつ勝者を讃えることができるか。

Ex)・北京五輪－小林陵侑、渡部暁斗、団体パシュート、混合ジャンプ
・東京五輪－400mリレー、
・ラグビーW杯の敗者インタビュー

●選手として・・・自分の選手時代は？現チームの選手達は？
○指導者として・・・最後のシュートを外した選手に。相手チームの監督に対し。

8

スポーツにおける正しいこととは

Good Loser (良き敗者)

言い訳をせず、負けを受け入れ、勝者を讃えることができるか。

Good Winner (良き勝者)

対戦相手をRespectでき、思いやりの気持ちをもてるか。

9

スポーツにおける正しいこととは

Good Winner (良き勝者)



10

スポーツにおける正しいこととは

Good Loser (良き敗者)

Good Winner (良き勝者)

＜相手を讃える、仲間に感謝する＞



「勝って奢らず、負けて腐らず」

11

グループディスカッション

どの言葉が印象に残っていますか？

ご感想・体験談を交換下さい

1. ご自分の経験や意見をOutput
2. 「発表」よりも「会話」がよい
3. 無言時間はもったいない: 同意・称賛・質問

12

スポーツインテグリティとは

Sport Integrity

高潔性
健全性
言行一致

13

スポーツインテグリティとは

Sport Integrity

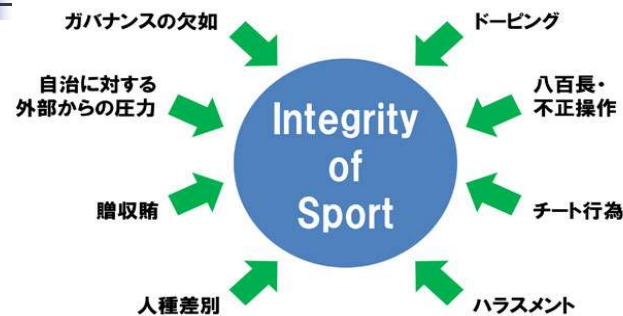
「スポーツが様々な脅威により欠けるところ
なく、価値ある高潔な状態」

本来、スポーツには人々を幸福にし、社会を善い方向に導く力があるといわれています。スポーツが本来持つ力を発揮するためには、その前提として、スポーツの「インテグリティ」が守られていることが重要です。しかし、スポーツ界にはいま、ドーピングや八百長、スポーツ指導における暴力、ハラスメント、ガバナンスの欠如など、「インテグリティ」を脅かす様々な問題があります。

JAPAN SPORT
COUNCIL

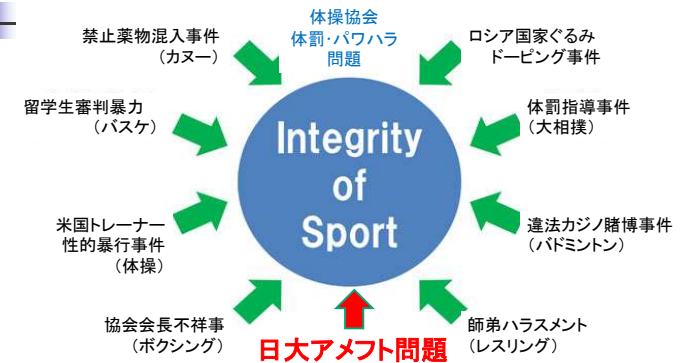
14

Integrity of Sportを脅かす要因



15

Integrity of Sportを脅かす要因



16

スポーツインテグリティとは

Sport Integrity

言動一貫

「自分の言うことと実際に行っていることが
一致していて、なおかつ一貫していること」

私達は言葉と行動が異なっていることが少なくありません。人前では良いことを言っている、
実際の行動がそうならなかったり、人に見られている時はしている、見ていないところで
はしてなかったりするものです。自分が口にしたことを実際に行っていて（一致）、
それがブレていないこと（一貫）。
これを守ることが「スポーツ・インテグリティを守る」ことになるのです。

(NTS Official Training Text 2018・巻頭言)

17

スポーツインテグリティとは

誰が見ていようがいまいが、
正しいことを、正しく行う。

18

グループディスカッション

どの言葉が印象に残っていますか？

ご感想・体験談を交換下さい

1. ご自分の経験や意見をOutput
2. 「発表」よりも「会話」がよい
3. 無言時間はもったいない: 同意・称賛・質問

19

最後に

ねらいは「自分のこれまでの振り返る」ことでしたが、
自分の価値観を見つめ直すことは出来ましたか？

「自分のこれからをどうするか」については、
正しい答えは1つではありません。

置かれた環境と、目の前の生徒の違いによって、
自分で見付けていくしかありません。

20



最後に

今日の研修会の内容は、先生方一人一人によって、
捉え方も感じ方も様々であったはずです。

それは、皆さんの自己経験が全て異なるからです。

「魔法の授業メニュー」なる授業法は実在しないのと
同じで、先生方は工夫し続けなければなりません。

今日の研修は“まとめ”ではなく、その“始まり”と
しなければなりません。研鑽を重ねる必要があります。
1 つでも2 つでもご自身のきっかけになれば幸いです。